

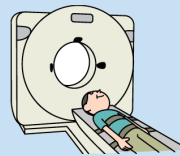


地域医療連携室だより



医療関係者の方へ 放射線科からのお知らせ

現在、検査件数が大幅に増加しており、読影結果の作成が遅れております。また、造影CT・MRI検査前の血管確保などにも時間がかかっており、患者さまにかなりお待ちいただく事態が生じております。そこで、少しでも患者さまの待ち時間短縮のため、以下のようにお願いしたいと存じます。



ご迷惑をおかけしますがご理解、ご了承のほど、どうかよろしくをお願いいたします。



①	当日フィルムやCDをお持ち帰りいただく際、可能な限り読影所見も一緒にお付けいたしますが、時間的な余裕がなく、また当院で検査後、直ちにご紹介の先生方を受診されるようであれば、読影所見はファックスにて送信させていただきたいと存じます。
②	造影検査が必要と思われる患者さまについては、あらかじめ採血をしていただき、その結果につきましては、紹介状、もしくは電話・ファックスにて当院地域医療連携室にご連絡ください。もし採血結果がない場合には安全のため、単純CT、MRI検査のみとさせていただきます。なお、採血結果につきましては、 直近1ヶ月以内のものをお知らせください。

ドクターヘリ模擬訓練を実施!



平成25年7月2日(火)ドクターヘリ模擬訓練(シミュレーション)を実施しました。今回は、山口県地域医療推進室及び岩国消防のご協力のもと、山口大学医学部附属病院(基地病院)のドクターヘリを使用し、搭乗医師から当院センター医師への連絡を皮切りに、実際に屋上のヘリポートから救急外来までの動きを確認いたしました。難波医師、重安医師、津田外来師長、十時副看護師長をはじめとした外来看護師の皆さま、久保外来係長他、多数の医療スタッフの綿密な事前打合せにより、スムーズに訓練が終了いたしました。なお、訓練終了時のドクターヘリ機長による安全面での講評は下記のとおりでしたので、伝達いたします。

管理課長 齊藤 隆夫
副看護部長 黒田 智美



- ・ 速さは、時速 200 ~ 260 キロになります。
- ・ ヘリの高度は、患者さまの容体によって異なります。
* 原則、山の上は通らず、海の方を通ります。
- ・ 山口大学医学部附属病院のドクターヘリは、最も大きなタイプで、搭乗人数は最大7名です。
(操縦士、整備士、医療スタッフ等4名、患者さま1名)
* 搬送する患者さまが1名の場合、医師の判断により付添いの同乗が認められることがあります。

今回は、山口大学医学部附属病院のドクターヘリでしたが、通常はより近い広島ヘリポートからドクターヘリが出動します。(広島のヘリは搭乗人数最大6名。原則、付添いはできません) 広島からの出動が困難な場合は、山口大学医学部附属病院→山口県消防防災ヘリコプター「きらら」の順で出動することになっています。

